

新春お砂ふみ一願めぐり

金龍寺では、毎年 1 月第 2 日曜日に、四国 88 カ所霊場の「新春お砂ふみ一願めぐり」を開催しています。今年で 26 年になります。「お砂ふみ」とは、四国 88 カ所霊場のお砂を踏んで、遍路体験をすることです。

この道場を設営するために、30 数名の奉仕によって、四国 88 カ所霊場のご本尊を金龍寺の本堂に奉安します。88 体のご本尊を祀るために、骨組み作業、お砂敷き、各種のお供え物、のぼり、テント、受付などを設営します。そして、お砂ふみ一日遍路が終われば、おしみなく即刻に片付けてしまいます。

このお砂ふみ道場をつくる作業は、ちょうどチベットの「砂絵マンダラ」と似ています。チベットのお坊さまたちは砂でマンダラを描きます。大きさは直径 160 センチほどですが、仏像や宮殿仏像や宮殿、門などは、すべて立体かつ精密に制作されていきます。しかし、砂絵マンダラも、完成すると同時に破壊して川へ流してしまいます。

金龍寺のお砂ふみも、砂絵マンダラも、仏さまたちをお迎えするまでのその過程の制作に大切な意味がこめられています。仏さまの世界を完成するまでの時間と作業が尊いわけです。これは、人生と同じです。目的に向かっていくその歩き方が人生そのものの意味だからです。うれしいゴールインはそのご褒美です。仏に向かっていくその心と行ないがもっとも大事なことです。

一心不乱に仏さまのことを考えながら行なう作業を「羯磨^{かつま}」といいます。つまり、羯磨とは「仏の仕事」という意味です。羯磨の精神がこめられているお砂ふみ道場には、仏さまの光明を全身に浴びることができます。羯磨の力があなたの障害を砕きます。それによって道がひらかれます。

これまでどれだけ多くの人たちがお砂ふみによって仏縁を結ばれたことでしょうか。金龍寺のお砂ふみには、大勢の奉仕による真心がこめられています。お四国のミニチュア道場ですが、仏さまに包まれます。年頭にあたり、大切なことに気づいて歩んでくださることを、私たちお砂ふみ制作者は願っています。

「お砂ふみ」開催日時
平成 27 年 1 月 11 日(日)
午前 9 時～午後 3 時まで